

平成27年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第 1 回 療 育 部会	参加者数	31 人	会場	伊那市福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成 27 年 6 月 1 日 (火) 15:30 ~ 17:00				
主 テ ー マ	<p>1 年間計画の確認</p> <p>2 支援を縦につなぐ個別のファイルの作成について</p>					
主 な 意 見 な ど	<p>1 について(小笠原部会長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、月1回程度のペースで開催し、「支援を縦につなぐ個別のファイル」の検討を皆で行っていく。11月頃までにはおおよその見通しや方向性を出せるよう、計画的に進めたい。 ・大勢の皆さんの意見を反映した、読みやすく、書きやすく、使いやすいファイルを目指していく。 ・ファイルの内容が固まり次第、周知方法や取扱い方法などについても深めていきたい。 <p>2 について(参加者全員)</p> <p>○5つのグループに分かれ、グループごと自己紹介をした後、ファイルの内容について意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は、倫理規定(案)と同意書以外の内容を中心に検討した。 ・グループには、実物大の検討資料も用意され、実際の記入のしやすさ等も確認しながら話し合うことができ、どのグループも活発な討議が行われた。 <p>○グループワーク終了後、全体で共有すべき事項があるグループから、検討内容の概略について説明があった。主な内容は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの方に使っていただくためには、ファイルを共有していくシステム、しくみづくりも重要ではないか。支援者間を縦につなぐシステム、制度的なしくみの検討も合わせて行っていく必要がある。 ・「支援の履歴」シートには「高等学校等」という欄があるが、義務教育修了後の進路は、進学、就職、家居など多岐にわたるため、「高等学校等」という一括りの表記に書きづらさや違和感を覚える方もいた。 ・倫理規定(案)や同意書に関して、誰が記入し、どこで管理するのかという意見があった。 ・何をつなぐのか。引継ぎを重視するのか、療育内容をしっかりつなぐかでも書き方は変わってくる。 ・途中で必要になったお子さんの場合、誰が作成するのか？関係者が知らないと作成できないまま終わってしまう可能性もある。 					
ま と め	<p>・「支援を縦につなぐ個別のファイル」(案)をより使いやすいものとするために、さまざまな視点から多角的な意見交換、検討を行い、内容の吟味や課題の洗い出し等を進めることができた。</p>					
次 回	<p>・第2回部会は、7月3日(金) 15:30~17:00 伊那市福祉まちづくりセンター大会議室にて開催します。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。</p>					

平成27年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第2回 療育部会	参加者数	30人	会場	伊那市福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成27年7月3日(金) 15:30 ~ 17:00				
議題	1 支援を縦につなぐ個別のファイルの作成と扱いの検討(グループワーク)					
主な意見など	<p>1 について ○1グループ6名、計5グループに分かれ、前回同様、グループワーク形式でファイルの検討を行った。</p> <p>(1) グループでの検討内容の確認(部会長より) ア ファイルの扱いについて (ア) 可能なら上伊那圏域で統一使用したいが、部会として、使用の強制はできない。 (イ) (ア)を踏まえつつ、多くの方に使っていただけるよう、よりよいものを作成し、PRにも力を入れたい。 (ウ) 提供はシートのみとし、きらりあホームページからシートのダウンロードができる形も検討している。 →県の情報共有ファイルと同じような扱いだが、このような方針でよいか、ご意見をいただきたい。</p> <p>イ ファイルの管理について (ア) ファイルの管理や取扱い方法、倫理規程等は、各市町村に任せる方向で考えたい。 (イ) その他、ファイル管理や取扱い上、問題となりうる事柄について、部会としての考えを集約したい。 例 ・入園・入学時等の引継ぎのあり方 ・途中でファイルが必要となった方への対応 ・普段の管理場所 ・就労後の管理場所 ・いつまで使用するか ・不要時の対応 など →管理や取扱いを市町村に任せる方向でよいか、ご意見をいただきたい。</p> <p>ウ その他 (ア) ファイルの形式は、リング2穴で、上下押し開く形式のものを各家庭でご用意いただく方向でどうか。 (イ) 周知資料(案)も作成してみたので、時間があれば合わせてご意見をいただきたい。 (ウ) その他、ファイルの使用上、気になる点があれば、自由にご意見をいただきたい。</p> <p>(2) グループごとの検討(約50分間)</p> <p>(3) グループワークの発表(主な意見のみ掲載) 【1グループ】 ・上伊那で統一ファイルがあるとよいが、各市町村の既存の「子どもカルテ」等との兼ね合いはどうなるのか。 【2グループ】 ・就労後の保管場所は、本人・保護者に返すか、福祉事業所管理がよいのではないかと。 ・ファイル活用に関し、年に1、2回は本人も交えやりとりができるとよい。本人も安心でき、連携が確立できる。 ・時間をかけよりよいファイルを検討してきた。その使用を各市町村の自由選択に委ねて本当によいか。 【3グループ】 ・各市町村に既存ファイルがあり、担当者も管理システムも異なるので、その点は尊重する必要があると思う。 ・既存ファイルは療育関係者が発達ベースで必要な情報をつなぐために作成したもの。今回のファイルは本人(親)目線でその子の育ちを記録していくもの。自ずとファイルの意味合いも異なると思う。 ・生活ベースでの記入が、専門職にとってはもっと違う詳細情報がほしいのに…等のジレンマを生まないか。 ・管理は本人(保護者)が行うのが望ましい。記入は、支援者が適宜、保護者や本人に促しを行えるとよい。 【4グループ】 ・本人(保護者)が管理し、つないでいくべき。これを提示すれば同じことを記入しないで済むシステムが望ましい。 ・本人(保護者)保管なら、返却の問題はなくなる。不要時は、本人や保護者がどうするか判断すればよいと思う。 いつまで必要とするかも同様。就労まで、グループホーム入居まで等、一人ひとり違うだろう。 ・学校入学時、必要な情報は保護者がコピーできるようにしたい。学校では担任交替時の引継ぎが心配である。 ・市町村でファイル管理するなら管理方法やシステムをある程度統一できた方が望ましいと思う。 ・ファイル様式がダウンロードできるなら、ワードファイルなどパソコンで直接入力できる形式がありがたい。 ・2穴リングでは破れたり、資料がズレて抜け落ちる等、紛失が心配。30穴の方が安心である。 【5グループ】 ・保管は本人(保護者)管理が現実的。ファイル使用は市町村の1担当者の判断では決められないと思う。 ・保健師から保育園へ、保育園から小学校へ等、つなぎの場面で必要な情報は支援者により異なる。網羅的には書ききれないのではないかと。 ・ファイルにはいつ、どこで、誰に相談や支援を受けてきたか、連絡先をきちんと記載していく。それをもとに、支援者が確認したい情報を必要に応じ関係機関に照会し、必要な情報を必要なだけ収集する形でよいのではないかと。</p> <p>(4) その他(部会長より) ・いただいたご意見を踏まえ、修正を事務局で行っているが、ぜひ協力したいという方は、一緒をお願いします。</p>					
	まとめ	<p>・「支援を縦につなぐ個別のファイル」(案)の管理と取扱いを中心に、引き続き、さまざまな視点から多角的な意見交換、検討を行うことができた。</p>				
次回	<p>・第3回部会は、7月31日(金) 15:30~17:00 伊那市福祉まちづくりセンター大会議室にて開催します。 大勢の皆様のご参加をお待ちしています。</p>					

平成27年度 上伊那圏地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第3回 療育部会	参加者数	30人	会場	伊那市 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成27年7月31日(金) 15:30 ~ 17:00				
主 題	1 支援を縦につなぐ個別のファイルの作成(グループワーク) 2 その他					
主 な 意 見 な ど	<p>1 について</p> <p>○今回のグループワークでは、主に「ファイルの管理」に焦点を当て、検討を行った。</p> <p>(1)本日のグループワークについて(部会長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理方法→市町村(関係機関)管理ではなく、本人(保護者)管理としたらどうか(事務局提案)。 ・ファイル作成の課題→ア「情報量不足」 イ「市町村既存ファイルとの兼ね合い」 <p>アについては、必要最低限の情報を盛り込み、付加情報は必要に応じて関係機関同士でつないでどうか。 イについては、本人(保護者)管理であれば、市町村の既存ファイルともうまく両立できるのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村(関係機関)管理と本人(保護者)管理の場合、考えられるメリット、デメリットを書き出した用紙を参考に、管理主体を本人(保護者)とする点の是非及びその場合の同意書文言等を中心にご検討いただきたい。 <p>(2)グループワーク(参加者全員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ5名程度、6グループに分かれて、およそ1時間弱、意見交換を行った。 ・終了後、各グループでの話し合いの要点を、発表し合い、全体で共有した。主な意見は、次のとおり。 <p>【Aグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人(保護者)管理の場合、継続記入が可能か、本当に必要な人が未作成とならないか、紛失等が心配。 ・行政はファイル保持者や情報内容の把握が難しくなり、関与しづらくなる可能性があり、一長一短と感じる。 ・同意書は、本人(保護者)管理なら、必要ないと思う。周知は、上伊那統一基準があると行政も動きやすい。 <p>【Bグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できれば、上伊那統一使用が望ましい。新たなファイル作成にはお金がかかる。既存ファイルを残して、新たに作成するよりは、一本化し、既存のファイル作成予算を新ファイル作成に回したらどうか。 ・もともと保護者の記入負担軽減というところから検討が始まった。最初の立ち位置を大事に考えてほしい。 ・支援を受ける子どもの立場に立ったファイル、本人が見ても納得でき、安心できるファイルであってほしい。 <p>【Cグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人(保護者)管理が望ましい。市町村(関係機関)管理では普段手元になく、借用しづらい面がある。 ・本人(保護者)管理となると関係機関に重要性を理解してもらいにくくなる。ファイルの周知が大切になる。(特に最初の出会い。必ず目の付くところに置き、ぜひ活用を…といった働きかけが重要になると思う) ・情報量が多すぎると見てもらえない。保護者が必要と思う情報は後ろに綴り、後はファイルに書いてある関係機関に連絡し、必要な情報は関係機関同士のやりとりで収集してもらう形がよいのではないかと。 <p>【Dグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人(保護者)管理でよい。多くの方に使用してもらうには、保護者、支援者双方にメリットがあることが大事。(例:出生の記録→ファイルのコピーで済めば、記入者、支援者双方の負担軽減につながる) ・しっかりとした記入の徹底をするよりも多少の遊び、いい意味での緩さがあった方が、使いやすと思う。 ・早期の一律周知、関係者がファイルの存在を知っていること等、関係者全員の合意がとれていることが大事。その意味で、周知とシステムのあり方が大切だと思う。 <p>【Eグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人(保護者)管理でよいと思う。保護者用ファイルと既存ファイルの2本立てで運用可能ではないか。 ・受給者証更新等の際にファイルを持参してもらい、定期的に行行政と保護者がつながる機会があるとよい。 ・行政からの働きかけがあると、療育手帳や受給者証等と同じレベルの意義あるファイルになっていくと思う。 <p>【Fグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人(保護者)管理で概ねよいが、情報等が実質的に使えるファイルとするには市町村の把握も必要。 ・行政がファイルの管理台帳を作成し、健診記録等、必要な情報はその都度コピーをとり、行政も把握していた方が、本人もより支援を受けやすくなるのではないかと。 ・就労後、事業所を移る可能性がある子もいる。就労について書き込める部分があってもよいのではないかと。 <p>2 について(講演会情報:「こどもの本の会としょとしょ」より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品川裕香講演会『絵本の力～発達障害への理解を深めるために～』 H27.10.24(土) 午後2時より 駒ヶ根市郷土館にて開催。興味のある方は、ぜひご参加ください。 					
ま と め	・支援を縦につなぐ個別のファイルの管理のあり方を中心に、参加者それぞれの立場から、周知やシステムの課題なども含めて幅広い意見交換を行うことができた。					
次 回	・第4回療育部会は、平成27年9月7日(月)15:30～17:00 伊那市福祉まちづくりセンターにて行います。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。					

平成27年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第4回 療育部会	参加者数	22人	会場	伊那市 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成27年9月7日(月) 15:30 ~ 17:00				
主 題 マ	<p>1 上伊那圏域連携サポート会議について(報告)</p> <p>2 支援を縦につなぐ個別のファイルの作成(グループワーク)</p>					
主 な 意 見 な ど	<p>1 について(小笠原部会長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年8月1日(土)、伊那養護学校にて、医療・福祉・行政・教育の各分野の関係者が集い開催された。 主な内容は、「上伊那で子どもの情報をつなぐ」をテーマにしたパネルディスカッション及び事例研究会。 療育部会として、作成中のファイル紹介を行った。反省アンケートには、ファイルについて大変多くの肯定的意見が記載されており、関係者の期待の高さを感じ、背中を押された思いであった。 <p>2 について(参加者全員)</p> <p>(1)本日のグループワークについて(小笠原部会長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回出された意見を踏まえた修正箇所を中心に、ご意見をいただきたい。 特に、関係機関が閲覧・コピーや許可を得てファイルを管理する場合の承認欄の検討をお願いしたい。 <p>【主な修正箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表紙:タイトル修正。ロゴマーク及び愛称を新たに追加したい。 同意書:削除。新たに「支援をしていただく皆様へ」とファイル利用・管理ができる機関等の記入欄追加。 フェイスシート:職業欄に「幼保」を追加・支援の履歴シート:横書き1ページに修正、見やすくした。 出生の記録シート:予防接種の種類を限定。その他、罫線等、細かな部分の微修正。ほか <p>(2)グループワーク(参加者全員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1グループ4~5名程度、5グループに分かれて、およそ40分程度、意見交換を行った。 <p>(3)全体での共有</p> <ul style="list-style-type: none"> 終了後、全体で共有したい内容を中心に、発表が行われた。 <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表紙の愛称 ・一般公募したらどうか。・「つながり」のファイルという考え方を参考に考えてはどうか。 ○「支援をしていただく皆様へ」中の文言・特別な支援という表記→障がいを連想させる可能性がある。 ○ファイル閲覧・複写・関係機関管理 <ul style="list-style-type: none"> ・機関名のみで支援者名の記入は、必要ないと思う。(後見人が管理する場合を除く) ・関係機関管理の場合、本人等への返却時期も明記すべきではないか。 ○ファイルの使用方法的記載 <ul style="list-style-type: none"> ・本人、保護者向けに、ファイルの使い方の記載があるとよい。使用するメリットを感じられる内容がよい。 ・記入上の注意書きが必要ではないか。ファイル全体の記入例もあった方がよいと思う。 ○出生の記録シート ・診断名は出生時診断名だけか、作成時の病名もすべて記載するのが曖昧。 ・既往歴は、どの時点のものを記載するのか。このシート名も含め検討が必要。 <p>○シートの順序</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシート、出生の記録シート、支援の履歴シートの順がよい。前2枚は見開きで見られるとよい。 ・綴り方は本人・保護者の自由か、順序を固定するか。つながりという流れで見やすさを考慮した配列を <p>○広報 ・自立支援協議会名で出すとしたら、自立支援協議会とは何かも合わせて周知が必要と思う。</p> <p>○その他 ・ファイルは、カラー印刷か。表紙はせめてカラーの方がよいのではないか。</p> <p>【市町村におけるファイルに対する現時点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊那市 活用を前向きに検討している模様。(部会長より) ・駒ヶ根市 現在、子どもカルテを使用しているが、来年度以降どうするかは今後話し合う予定。 ・辰野町 希望者に使ってもらうのは問題ないと思う。上伊那圏域はこれでよいが、他圏域にも隣接しており、そちらとの兼ね合いも気になるところ。 ・宮田村 村独自のシートが完成し、今年度試験的に使用し、来年度から本格的に使うという話もあるが、圏域内の転出入を考えると、できればこのシートを使う方向で検討できたらと思う。 					
ま と め	<p>・ファイルの修正箇所の検討を中心に、広報のあり方なども含め、より具体的な議論を展開することができた。</p>					
次 回	<p>・第5回療育部会は、平成27年10月1日(木)15:30~17:00 伊那市福祉まちづくりセンターにて行います。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。</p>					

平成27年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第 5 回 療育 部会	参加者数	28 人	会場	伊那市 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成 27 年 10 月 1 日 (木) 15:30 ~ 17:00				
主 題 マ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別ファイルの内容の検討(グループワーク) 2. 伊那市での採用に向けての取り組みについて 3. 広報について 					
主 な 意 見 な ど	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別ファイルの内容の検討(グループワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・内容について、ランダムに5グループに分かれ、検討を行った。 ・今回の修正箇所→ ①利用する皆様へ(p.2) ②利用できる機関(p.3) の内容や様式の確認 ・ファイルの内容の精査は今回で一時終了とし、次回、第1次決定稿の完成の予定。 2. 伊那市での採用に向けての取り組みについて(井上副部長より) <ul style="list-style-type: none"> ・現状説明 発育発達個人票(子どもカルテ)の利用者は現在までに334人。 冊子様式や内容の変更を再検討すべき時期に入っていたため、療育部会とともに検討を行うことになった。 ・検討事項 管理について(窓口、作成者リスト) カルテの周知について 予算について ・課題や意見 本人保護者管理にすることでの、汎用性のメリットが期待できるか。 すでに現行のもので作成済みの方々についての対応はどうか。→ 引き続き検討する。 3. 広報について <ul style="list-style-type: none"> ・11月以降～、各市町村の担当部署に出向き、直接紹介を行わせてもらう。→ 事務局、AD等で調整。 利用に前向きな市町村から、実際の施行に向けて話し合いを進めていく。 ・広報用のチラシを活用する。(今回の部会で配布したもの) ・市町村以外の多くの団体(親の会など)への周知はどうか。 ・10月19日の市町村連絡会でも、事務局が進捗状態を報告する予定。 					
ま と め	<p>ファイルの内容の精査は一時終了とし、実際の施行に向けて、伊那市をモデルに課題の検討を進めていく。同時に、市町村向けの広報活動を具体的に進めていく。ほかの多くの団体への周知の仕方なども検討する。</p>					
次 回	10月29日(木)15:30～17:00 伊那市福祉まちづくりセンター					

平成27年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第 6 回 療 育 部会	参加者数	23 人	会場	伊那市 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成 27 年 10 月 29 日 (木) 15:30 ~ 17:00				
主 題 マ	<p>1 支援を縦につなぐ個別のファイルについての検討 2 ファイル使用に向けての今後の見通し 3 その他</p>					
主 な 意 見 な ど	<p>1 について (1)「支援を縦につなぐ個別のファイル」の内容検討 ・前回出された意見を踏まえ、修正を加えたファイルの最終検討を参加者全員で行った。 ・ファイル内容の確認精査は、今回で一応終了とし、第一次決定稿を事務局にて確定する。</p> <p>(2) 内容面以外の検討事項 ア ファイル周知のチラシについて ・原案として、保護者版と青年・成人版の2種類が示され、文言やレイアウト等について、検討を行った。 →出された意見を踏まえ、広報のしかたも含め、引き続き精査していく。</p> <p>イ 広報のしかたについて ・多くの方に利用していただける確実な周知と広報のあり方について、意見交換を行った。 ・主な検討事項 問い合わせた方が、各機関で確実にファイルを手に入れるシステムのあり方 医療・教育・福祉・行政等、各々の関係機関にとって最も確実かつ効果的な周知方法は何か 希望する方が誰でも圏域内でファイルを使用できるための共通認識、合意形成の方途</p> <p>ウ 愛称・ロゴマークについて ・愛称やロゴマークをどのように決めていったらよいかを中心に話し合った。 →引き続き検討するが、ファイル自体の周知、利用を優先する。</p> <p>エ データの扱いについて ・ダウンロードする場合のデータ管理や紙ベースで配布する場合の課題等について、検討した。 ・主な検討事項 ダウンロードする場合のデータのファイル形式 手書き記入、パソコン入力する場合のメリット・デメリット 紙ベース配布の場合、印刷方法・紙質・予算等について</p> <p>(3) 部会長より ・実際に使用しないと分からないさまざまな課題も想定される。 お気づきの点があれば、その都度、事務局へお知らせいただくとありがたい。</p> <p>2 について (1) 伊那市の動向について ・先日は、保育園の園長先生方に、部会長がファイルの説明を行い、ご理解をいただいた。 ・ファイルの印刷方法や予算面等、来年度からの活用に向けた具体的な話も出てきている模様。</p> <p>(2) 今後の部会としての動き ・県自立支援協議会において、辰野アドバイザーが、ファイルの第一次決定稿をもとに上伊那圏域での本部会の取り組みを全県に紹介する予定である。 ・ファイルの大枠が固まり次第、辰野アドバイザーと部会長が、圏域内各市町村の担当者に、ファイルの紹介と活用をお願いを順次行っていく方向で今後調整を進めていく。</p> <p>3 について ・上伊那圏域福祉フォーラム 平成27年11月7日(土) 13:00~16:30 (受付 12:30~) 於:南箕輪村民センター ・講演会のお知らせ 内容:発達障がいのあるお子さんの思春期について講師:こころの医療センター駒ヶ根 原田謙 医師 日時:平成27年11月28日(土) 10:00~11:30 場所:駒ヶ根市役所大会議室 お申し込み・お問い合わせ:駒ヶ根市児童発達支援施設つくし園(82-4012)へ。</p>					
ま と め	<p>ファイル内容の精査が一応完了し、第一次決定稿を作成することとなった。県自立支援協議会へも報告する。 伊那市の動きに注目しつつ、市町村向け広報活動も展開する。他団体への周知方法等も、今後検討していく。</p>					
次 回	<p>詳細については、後日お知らせする。</p>					

平成27年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第7回 療育部会	参加者数	17人	会場	伊那市 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成28年1月18日(月) 15:30 ~ 17:00				
主 テ ー マ	<p>1 「成長ダイアリー」使用に向けて —伊那市の動向を中心に—</p> <p>2 「成長ダイアリー」に関する最終検討</p> <p>3 その他</p>					
主 な 意 見 な ど	<p>1 について</p> <p>(1) 伊那市における「成長ダイアリー」使用に向けた動きについて(伊那市子ども相談室担当者より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度より、A4 2穴式クリアファイルに紙ベースで印刷した「成長ダイアリー」を挟んだものを配布予定 伊那市で使っている「発育発達支援個人票」は、ファイル配布に合わせて、本人・保護者へ返却する。 学校に対しては、市校長会を通じて周知し、保護者へは教職員を通してお知らせ文書を配布したい。 <ul style="list-style-type: none"> 主な質問・意見交換事項 「成長ダイアリー」の配布時期について 教職員・保護者への説明について 教育・保健・福祉担当者間の連携システム及び窓口となる事務局について <p>(2) 他市町村への普及に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊那市の動きの説明を受け、他市町村の今後の動向等について意見交換を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 主な検討事項 市町村や関係機関による情報の伝わり方の違いをどう解消するか 圏域内の保護者や親の会への周知と利用希望に応えられる体制作りのあり方 「成長ダイアリー」に込められた保護者の願いの再確認及び支援者のスタンスについて 教育・保健・医療・福祉の連携と合意形成の方途 <p>2 について</p> <p>○「成長ダイアリー」の最終確認を参加者全員で行った。合わせて、今後の広報活動についても確認した。</p> <p>(1) 「成長ダイアリー」内容面の最終検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回からの修正箇所の説明(事務局より) 表紙やシート内の文言、字句の修正、レイアウト、記載事項の過不足や重複等について検討した。 →出された意見を踏まえ、事務局で最終的な修正・チェックを行った上で、確定稿とする。 <p>(2) 「成長ダイアリー」の広報について(部会長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村への周知は、平成28年2月中に辰野アドバイザー・事務局とともに各市町村を訪問し、説明を行う。 その他、要請があれば、関係機関、保護者会等にも出向いて説明会を開催したいと考えている。 PRのチラシを関係機関に置いていただき、各種研修会や会議の折にもチラシを配布できるようにしたい。 その際には、「成長ダイアリー」の見本も1冊置けるとよい。 →質疑・意見等なし。 <p>3 について(事務局より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次回部会では、「成長ダイアリー」の説明会を開催する。できるだけ多くの関係者に説明をきいていただけるようにしたい。参加を呼びかけてほしい関係機関や団体等があれば、早めに事務局までお知らせください。 					
ま と め	<p>伊那市の動向を踏まえ、他市町村への普及の方途を合わせて議論した。「成長ダイアリー」の最終検討を行った。確定稿を作成し、市町村への説明、部会での説明会開催等、広報・周知活動を具体化し、展開していく。</p>					
次 回	<p>第8回部会は、平成28年2月25日(木) 15:30~17:00 伊那市福祉まちづくりセンター大会議室で行います。大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。</p>					

平成27年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第8回 療育部会	参加者数	45人	会場	伊那市 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成28年2月25日(木) 15:30 ~ 17:00				
主テーマ	<p>1 上伊那版情報共有ファイル「成長ダイアリー」についての学習会 2 各市町村の動向など 3 その他</p>					
主な意見など	<p>1 について(部会長より) ○療育部会において2年間の検討を経て完成した「成長ダイアリー」について、作成のきっかけから、経緯、完成したダイアリーの概要と定められた願い等について、パワーポイントを用いて説明が行われた。 (1) タイトル:「成長ダイアリー」の利用に向けて (2) 主な説明事項 ・上伊那圏域地域自立支援協議会及び療育部会の活動について ・作成のきっかけ:支援を縦につなぐ連携強化の必要性→当事者がより支援を受けやすいファイル作成へ ・作成の経緯:2年間の部会での検討経過→完成した成長ダイアリーの内容説明及びチラシについて ・利用に向けて:自ら主体的に支援を求め、圏域で長く愛され共通使用される「成長ダイアリー」としたい</p> <p>2 について (1) 伊那市の動向について(子ども相談室担当者、副部会長より) ○来年度より「成長ダイアリー」を使用する伊那市の動きについて、概要説明があった。 ア 周知に向けた主なスケジュール ・平成28年3月 市校長会にて、成長ダイアリーとその取扱いを説明予定。 ・平成28年4月 特別支援教育コーディネーター連絡会にて、小中学校の先生方へ説明予定。 イ 既存ファイルの返却等、今後の進め方について ・平成28年3月中には、各学校へ既存の「発育発達支援個人票」と合わせ「成長ダイアリー」を配布予定。 ・学校側で保護者への説明準備が整い次第、順次既存ファイルと合わせ本人・保護者への返却を進める。 ウ 「成長ダイアリー」の体裁(伊那市仕様) ・A4 2穴式クリアファイルにカラー印刷表紙と、各シート(片面印刷)を挟み込んだ形で配布する。 ・追加記入や差し替えの便を考慮し、両面印刷はせず、必要書類は自由に挟み込んでいける形とした。</p> <p>(2) 他市町村の動きなど ○平成28年2月に辰野アドバイザー、部会長及び事務局で伊那市を除く7市町村に出向き「成長ダイアリー」の説明を行い、各市町村における現時点での考え等の意見交換及び情報共有を図った。 ○現時点における各市町村の動き等(市町村担当者、事務局より) ・駒ヶ根市:来年度は現在の「子どもカルテ」を使用する。再来年度以降は検討中。 ・辰野町:保育園長会での周知や見本を保護者に見ていただく機会を設ける等、周知の方途を検討中。 ・箕輪町:当面、希望者に配布する形で検討していきたい。 ・飯島町:まずは、保健師・教育委員会・学校の3者で検討したい。 ・南箕輪村:関係部署の担当者間の情報周知をまずは進めたい。 ・中川村:現在子どもカルテのようなものがある。協力を求められたら対応する。いくつかの検討課題があるため、保留。 ・宮田村:現在検討中。支援者への周知を進め、その中で具体的に検討していきたい。</p> <p>(3) その他検討事項(参加者全員) ・医療機関への周知と連携のあり方 ・各市町村における個人情報開示の取扱いについて ・「成長ダイアリー」に書ききれない個人情報の引継ぎや扱いについて</p> <p>3 について(上伊那圏域特別支援教育連携協議会事務局担当より) ・「特別支援教育だより○○上伊那 第22号」を発行した。保育・福祉・医療・行政・教育等をつなぐ情報誌。掲載してほしいお知らせ等あれば、ぜひお寄せください。 ・「平成28年度 上伊那圏域連携サポート会議」を平成28年7月30日(土)に開催する。ぜひご参加ください。</p>					
まとめ	<p>完成した「成長ダイアリー」の学習会を行い、周知・PRの一助とした。また、伊那市の動向と合わせ、他市町村の現時点の動きの情報共有を図った。「成長ダイアリー」のさらなる周知・活用に向け、継続して活動を展開する。</p>					
次回	<p>今年度は全8回の部会を開催してきました。大勢の皆さんのご参加、ありがとうございました。来年度も引き続き積極的なご参加をよろしくお願いいたします。</p>					

